

# 令和3年度予算を市議会が慎重に審査

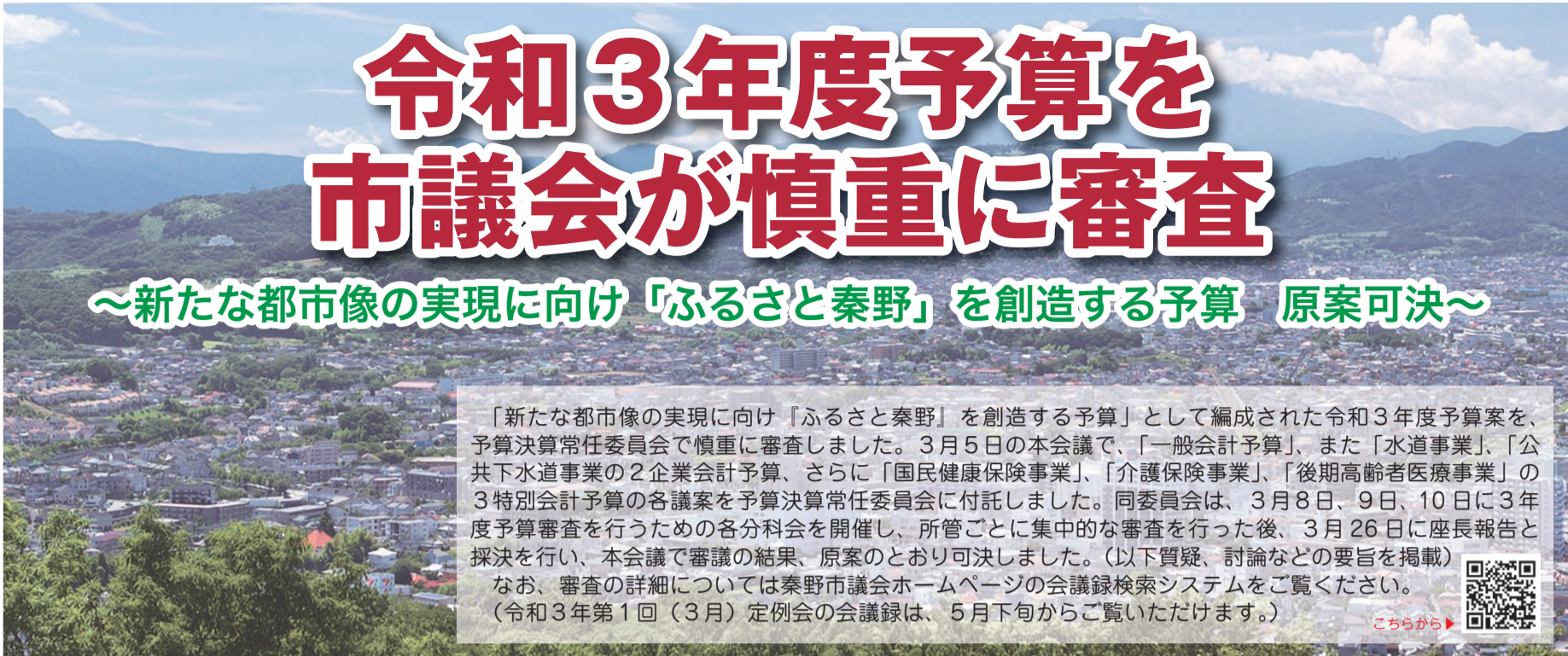
## ～新たな都市像の実現に向け「ふるさと秦野」を創造する予算 原案可決～

「新たな都市像の実現に向け「ふるさと秦野」を創造する予算」として編成された令和3年度予算案を、予算決算常任委員会で慎重に審査しました。3月5日の本会議で、「一般会計予算」、また「水道事業」、「公共下水道事業」の2企業会計予算、さらに「国民健康保険事業」、「介護保険事業」、「後期高齢者医療事業」の3特別会計予算の各議案を予算決算常任委員会に付託しました。同委員会は、3月8日、9日、10日に3年度予算審査を行うための各分科会を開催し、所管ごとに集中的な審査を行った後、3月26日に座長報告と採決を行い、本会議で審議の結果、原案のとおり可決しました。(以下質疑、討論などの要旨を掲載)

なお、審査の詳細については秦野市議会ホームページの会議録検索システムをご覧ください。  
(令和3年第1回(3月)定例会の会議録は、5月下旬からご覧いただけます。)



こちらから▶



### 総務分科会

- 政策部・総務部
- くらし安心部・文化スポーツ部
- 会計課・議会局
- 監査事務局・消防本部
- 選挙管理委員会事務局

### 企画事務費について

**問** 大学生の知見を活用して行政課題を解決するための取り組みを進めている自治体もある。本市においても大学と連携し、若者の声をまちづくりを生かすための仕組みが必要と考えるが、どうか。

**答** 大学提携を進める中で、本市の課題と大学の研究機能とのマッチングをさらに強化し、課題の解決につながる意見については、積極的に取り入れていきたい。

**土地売却収入について**  
要望 市有地は市民共有の貴重な財産である。コロナ禍の影響により税収の増加が見込めない中、売却が困難な土地は駐車場としての利用や貸し出しを行うなど、歳入確保に努めてほしい。

**市民によるまちづくり事業費について**  
問 市民との協働や連携によるまちづくりをより一層推進するため、特別事業交付金を拡充するとともに、市内8地区に地域まちづくりコーディネーターを配置することのことが、その概要はどのようか

**答** 地域まちづくり計画に掲げる活動に対し、1地区当たり100万円を上限に交付する内容に拡充する。また、公民館長を身近な相談役として地域まちづくりコーディネーターに位置付け、地域主体

### 文教福祉分科会

- 福祉部
- 子ども健康部
- 教育委員会

### 生活困窮者自立支援事業費について

**問** 学習支援事業において、対象者を拡大するなどの充実を図っているとのことだが、令和3年度における取り組みはどのようか。

**答** オンラインでの開催など工夫しているが、対面で実施できるように、状況を見ながら対応したい。

**障害者自立支援事業費について**  
問 障害福祉サービス事業に、多くの事業者が参入することなどに



秦野精華園秦野市障害者日中サービスセンター「ひまわり」

### 保育所等整備事業補助金について

**問** 第2期秦野市子ども・子育て支援事業計画において、新たな保育施設の整備は計画されていなかったが、令和3年度に保育所が新設されることとなった理由は、どのようか。

**答** 施設が整備される南小学校区は、現状でも保育需要が多い地域であり、加えて秦野駅前に新たなマンションの開発計画が進められているなど、今後の需要も見込まれるため、整備することとした。

**要望** 待機児童の解消に向けて、保育所の増設に加え、幼稚園における預かり保育の時間を延長して対応することも検討してほしい。

**コミュニティ保育推進事業費について**  
問 未就園児とその保護者が社会的に孤立することを防ぐための補助事業であるが、対象団体の大幅な減少に伴い、予算が減額となっている。現状を踏まえた今後の取り組みはどのようか。

**答** 少子化の影響や保護者の就労などにより、団体数は減少傾向に



コミュニティ保育の様子

### 消防団車庫待機室整備事業費について

**問** 消防団車庫待機室の建て替えに当たっては、女性消防団員が入団した場合においても、安心して活動できるための配慮が必要と考えるが、対応はどのようか。

**答** 令和元年度以降に建て替えを行った施設においては、更衣室と2カ所のトイレを設置する仕様としている。今後も男性・女性双方に配慮し、消防団活動を促進するため、環境整備に努めていく。

**秦野市・伊勢原市共同指令センター施設等整備事業費について**  
問 消防団車庫待機室の建て替えに当たっては、女性消防団員が入団した場合においても、安心して活動できるための配慮が必要と考えるが、対応はどのようか。

**答** 令和元年度以降に建て替えを行った施設においては、更衣室と2カ所のトイレを設置する仕様としている。今後も男性・女性双方に配慮し、消防団活動を促進するため、環境整備に努めていく。

**問** 令和2年度から郵送の申請を可能としたほか、3年度は児童・生徒1人1台のICT端末の運用に合わせ、新たに家庭での通信費を援助する。また、元年度に比べ、収入が大幅に減少した可能性が高い世帯については、個別に対応している。引き続き、必要な支援が届くように努めていく。

**要望** 制度の拡充と運用の工夫は高く評価する。必要な支援が確実に子どもに届くよう、現物支給についても検討してほしい。

**図書館資料等購入経費について**  
問 自治体によっては電子書籍や郵送貸し出しなどを導入しており、「新しい生活様式」に対応した図書館サービスの新たな展開が求められていると考えるが、本市の取り組みはどのようか。

**答** 電子書籍の需要の高まりは感じているが、利用者ニーズの高い作品が少ないなどの課題がある。「新しい生活様式」の定着に伴って生まれる新たなニーズを的確に捉えたサービスの提供ができるよう、研究したい。



県立秦野戸川公園のチューリップによる五輪

の取り組みをさらに支援していくものである。

**オリンピック・パラリンピック推進事業費について**  
問 東京オリンピック・パラリンピックは、多くの市民がスポーツを通じた感動を共有する絶好の機会となるため、一人でも多くの人が関わりを持つことが必要であるが、考えはどのようか。

**答** 令和3年7月の野球競技観戦ツアーのほか、8月には上智大学短期大学部などと連携し、パラリンピックの聖火を平和の灯から採火する「聖火フェスティバル」を開催するなど、記憶に残るような事業を行う予定である。

**要望** オリンピック・パラリンピックを通じた事業が、子どもたちの夢や希望につながり、かけがえのない思い出として残るよう、取り組んでほしい。

**消防団車庫待機室整備事業費について**  
問 消防団車庫待機室の建て替えに当たっては、女性消防団員が入団した場合においても、安心して活動できるための配慮が必要と考えるが、対応はどのようか。

**答** 令和元年度以降に建て替えを行った施設においては、更衣室と2カ所のトイレを設置する仕様としている。今後も男性・女性双方に配慮し、消防団活動を促進するため、環境整備に努めていく。



本市の消防指令センター